研究テーマ 情報社会におけるリスクガバナンス

所属 学術研究部　教育研究推進系　教育教養学系

講師 LIU XIAOXUE
https://researchmap.jp/LXX

研究分野	広報論、メディア論、リスクコミュニケーション、リスクガバナンス、公共政策
キーワード	行政広報、メディア、リスクコミュニケーション、危機管理（リスクガバナンス）

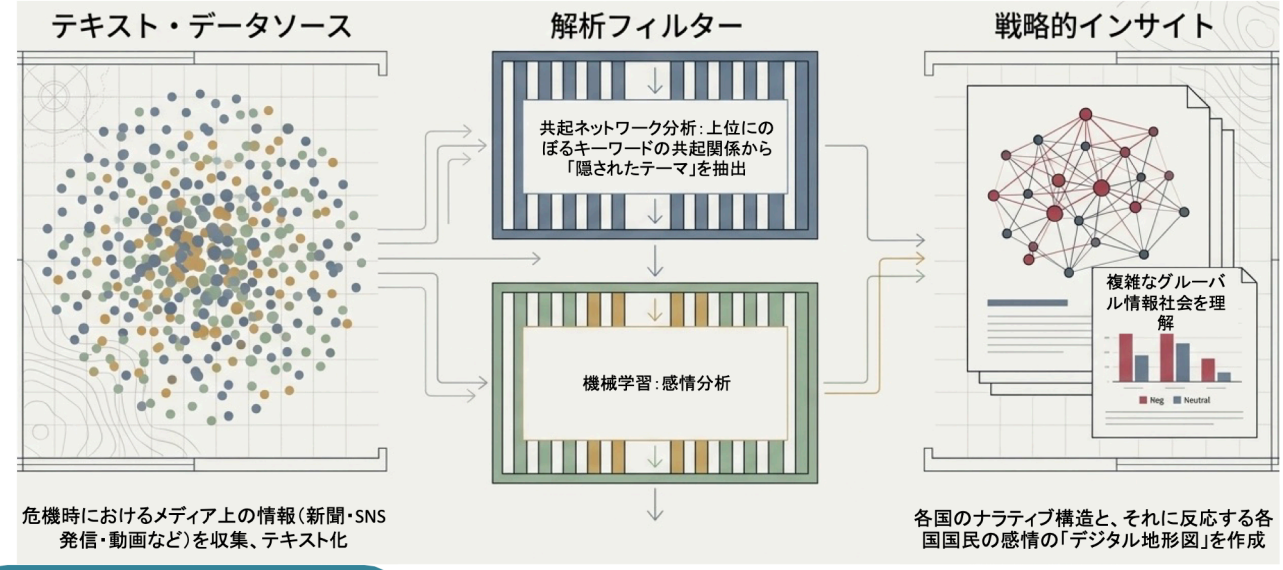
研究室URL：

研究の背景および目的

パンデミックや戦争といった危機下において、情報の流動性と指導者の意思決定は、社会の安定を左右する極めて重要な戦略的変数である。COVID-19発生やロシアウクライナ開戦以降、世界は「非対称的情報環境」に起因する混乱に直面した。情報社会の不確実性は公衆のパニックを増幅させた。研究者の研究は、情報社会の危機管理（リスクガバナンス）の諸相を多角的に解剖し、危機時におけるリスクコミュニケーション現状、および行政による情報発信が社会の意思決定や心理にいかに作用するかを俯瞰的に考察している。



■主な研究内容



期待される効果・応用分野

研究から得られた知見は、将来の多様な危機に対応する「強靭な情報社会基盤」を構築するための戦略的資産となる。その応用は、①リスクガバナンスの高度化、②戦略的リスクコミュニケーションの最適化、③行動変容を促すコンテンツ制作の三側面に整理され、危機の兆候を早期に把握し、信頼性の高いメッセージ設計と効果的な情報発信へと接続する統合的枠組みを提示する点に意義がある。さらに、感情動態のリアルタイム分析、報道官および発信内容の最適化、公衆の関与を高めるコンテンツ設計という実践的指針を通じて、偽情報や情報の偏りによる混乱への先行的対応を可能にする。研究はメディアを社会の安定を支える基盤として再定位し、その戦略的活用に資する理論的・実証的枠組みを提供することで、危機時の意思決定の質の向上と社会全体のレジリエンス強化に寄与する。

■共同研究・特許など

富山大学研究者プロファイルPure URL：
https://u-toyama.elsevierpure.com/ja/persons/xiaoxue-liu/